



同時発表
 関東地方整備局港湾空港部
 横浜市港湾局

平成25年9月30日
 国土交通省港湾局

東京湾の環境改善に民間企業の力を活用

東京湾^{うみ}UMIプロジェクト

-横浜港においてアマモ場の再生に取り組む企業が決まりました-

横浜港において、港湾区域の一部を開放し、そこでNPOや市民等の多様な主体と協働でアマモ場の再生活動に積極的に取り組んで頂ける企業を、8月5日から8月30日にかけて募集しました。

その結果、以下の3社から応募があり、3社とも優れた提案であると認められましたので、3社に活動頂くことで決定しました。各社の提案概要は別紙のとおりです。

今後は、各社が各々の提案書に基づき、NPOや市民と協働でアマモ場の再生活動に取り組んでいくこととなります。

(以下、申請順)

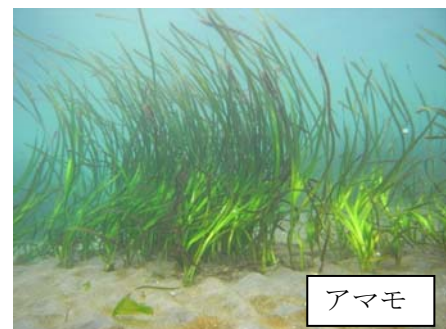
NO	企業名	所在地
1	一般財団法人 セブーンイレブン記念財団	東京都千代田区
2	株式会社 高千穂	横浜市西区
3	味の素 株式会社	東京都中央区

UMIプロジェクトの進捗等については、関東地方整備局港湾空港部HPまたは横浜市港湾局HPにおいて、随時情報発信していきます。

関東地方整備局港湾空港部：<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/>

横浜市港湾局：<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/basicinfo/green/>

- 別紙1：各社の提案概要
- 別紙2：本プロジェクトの実施海域
- 別紙3：UMIプロジェクトについて（概要）



アマモ

<問い合わせ先>

- 企業選定や事業実施に関する内容
 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部（事務局） 松坂、松森
 (TEL:045-211-7406(内線 5905, 5838), 045-211-7404(直通) FAX:045-211-0204)
- 東京湾再生行動計画に関する内容
 国土交通省 港湾局 海洋・環境課 戸谷、清水
 (TEL:03-5253-8111(内線 46673, 46654), 03-5253-8685(直通) FAX:03-5253-1653)

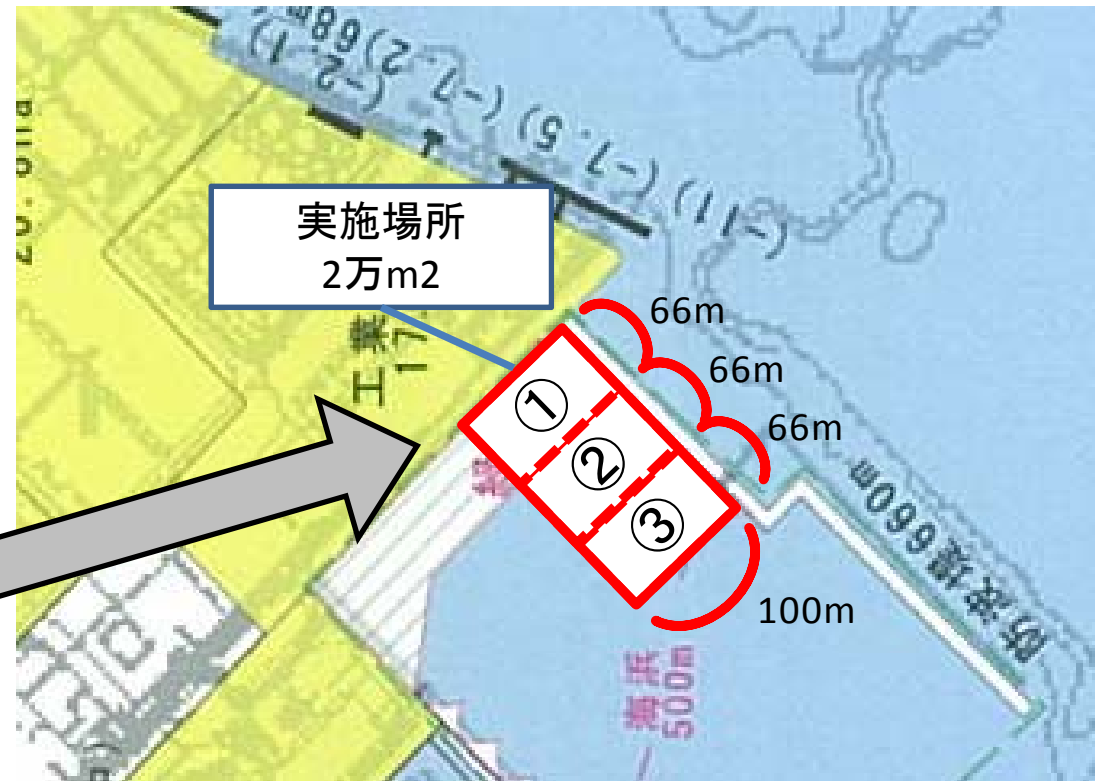
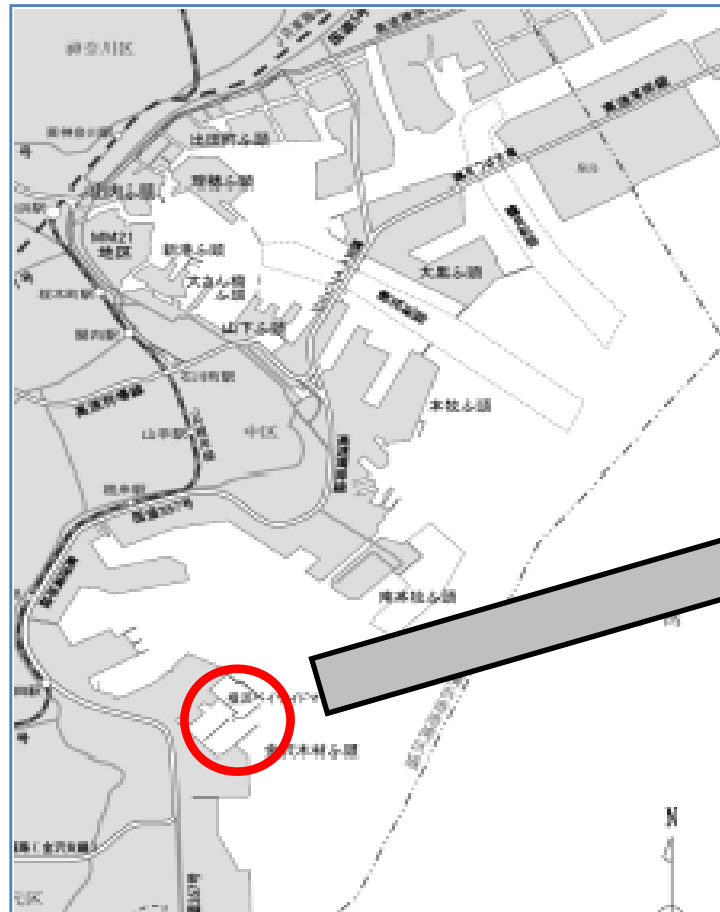
各社の提案概要

(別紙 1)

	活動の概要	活動の実施体制	活動の概略スケジュール
一般財団法人 セブン- イレブン 記念財団	<p>①横須賀市走水海岸や横浜海の公園でアマモの花枝を採取する。 ②採取した種子でアマモの苗床づくりを行う。 ③活動に合わせアマモ学習会を行い参加者への啓蒙を図る。 ④2013年11月にアマモの種まきを実施する。 ・実際の海中でのアマモ種まきは、NPO法人 海辺つくり研究会に依頼する。 ・参加者は小船で活動場所に行き、船上から指定場所に種を投入、ダイバーが砂にうずめる。 ・同時に水中のビデオカメラの映像を船上で観察する。 ・海辺つくり研究会と協働で定期的のアマモの成長の記録を撮影し、観察会を行う。 ⑤活動の状況は社内誌、グループ誌に掲載、グループ会社全体で共有する。</p>	<p>○申請、企画、募集、資金 (一財) セブン-イレブン記念財団 ○企画、運営 NPO法人 海辺つくり研究会 ○協力 神奈川県水産技術センター 横浜市漁業協同組合</p>	<p>11/16 ・アマモの種まき</p>
株式会社 高千穂	<p>①アマモの育成及び観察学習会 ②アマモの種の採取または種の選別及び環境学習会 ③アマモの苗床づくり ④アマモの移植 ・実施にあたっては、NPO 法人海辺つくり研究会の協力のもと、一般市民及び学校・保育園関係者の参加者とともに、継続的かつ段階的にアマモ場の再生活動を行う。 ・特に、子供の参加を促し、興味を持って活動を継続できるように働きかけることで、家族や周りにもアマモ場の重要性の認識を高める。 ・イベント毎の記事を社のウェブサイト等に掲載する。</p>	<p>○活動企画・運営・責任 (株)高千穂(社員及び協力業者) ○活動実施協力 NPO 法人海辺つくり研究会 ○アマモ育成協力・種子提供 柴漁協組合(予定)</p>	<p>10~11月 ・アマモの育成場所確保及び社員による観察会 11月~1月 ・アマモの観察学習会募集 1月~2月 ・アマモの観察学習会及び広報 2月~3月 ・アマモの観察学習会及び広報</p>
味の素 株式会社	<p>①アマモを種から育て、苗を植え付け、東京湾を再生するお手伝いをする。 ②従業員 & 家族、子供たちが参加することにより東京湾の自然・環境を学ぶ。 ③「味の素ならではの」活動を組み込む(例①苗作りにアミノ酸を使う等。詳細は今後検討) ④当社と関係のある企業(スーパー、コンビニ等)との共同作業、懇親。(詳細は今後検討) ・実施にあたっては、京浜地区を中心に社員希望者を募る。社員・従業員の自然環境学習の場にするとともに、社外との友好も深めながら東京湾を改善する活動の拡がりを実感する。 ・広報部等を通じて社内外PRを行う。</p>	<p>○社の環境改善活動である「Smile Earth!」の運営組織にUMIプロジェクト事務局を設置 ○アマモの育苗、植え付けについては専門家の援助を依頼。</p>	<p>10~3月 ・アマモの苗床、苗づくり(場所未定) 3月中 ・植えつけ ・自然観察教室 11月~1月 ・育苗にアミノ酸資材を使った実証実験</p>

本プロジェクトの実施海域

開放区域： 横浜港ベイサイドマリーナ近隣
(横浜市金沢区白帆)



①のエリア 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

②のエリア 株式会社高千穂

③のエリア 味の素株式会社

横浜港におけるアマモ場再生に取り組む企業募集について(概要)

(別紙 3)

～「東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト(通称:UMIプロ)」の第一歩～

■目的: 多様な主体による東京湾の再生活動の輪を拡げるため、東京湾の公共水域において、NPOや一般市民等の多様な主体と協働でアマモ場再生に取り組む企業を募集し、生物多様性を確保すると共に、その活動を通して、人々の海への理解や関心を高める。

■場所: 横浜市金沢区白帆

■実施期間: 平成25年10月～平成26年3月末

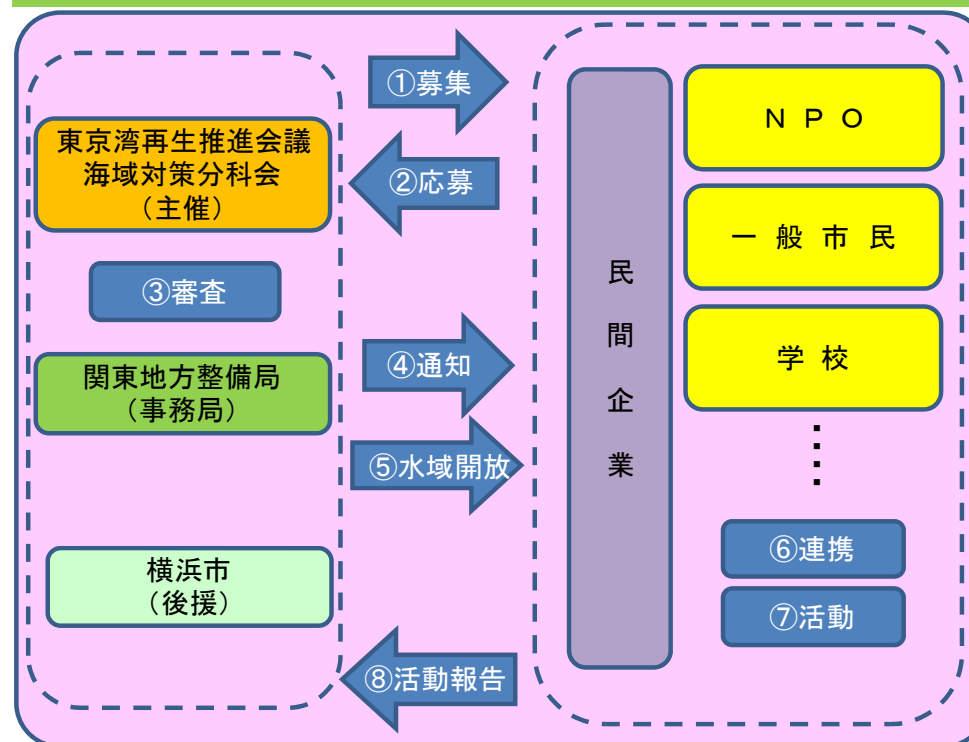
《実施イメージ》

水域の開放
(港湾管理者)

企業等による
アマモの育成
(企業・NPO等)



《応募から活動の流れ》



《参考》「東京湾再生のための行動計画(第二期)」

3. (2) 海域

＜海域における環境改善のための施策＞

海域環境改善に向けた活動の輪を拡げるため、NPOや企業、漁業者等による藻場等の造成を推進する